『図説建築環境』お詫びと訂正

本書（第 1 版第 1 刷）に以下の誤りがございました。読者の皆様にお詫び申し上げますとともに、以下に訂正いたします。（学芸出版社編集部）　※第 2 版第 1 刷以降については訂正済です。

■2 章

・40 頁図 2・10　「ウェットフェーン」「ドライフェーン」の説明語句の配置が逆。
・43 頁式 2・6
（誤）$\sin a = \frac{\cos\phi\cos t}{\cos h}$　（正）$\sin a = \frac{\cos\delta\sin t}{\cos h}$
・47 頁図 2・33　冬至の直達日射　水平面と南面が逆
・48 頁右段 7 行目　参照先：「p. 84」→「p. 82」
・49 頁式 2・21（誤）$\varepsilon_{sky} = \left(1-(1+\xi)\right)\exp(-(1.2+3.0\xi)^{0.5})$　（正）$\varepsilon_{sky} = 1-(1+\xi)\exp(-(1.2+3.0\xi)^{0.5})$
・49 頁式 2・22　f→p

■3 章
・71 頁右段下から 2 行目　「図 3・26」→「図 3・24」

■4 章
・95 頁式 4・2、式 4・3 説明中、ステファン・ボルツマン定数の単位　「W/m^{2}K」→「W/m^{2}K^4」
・95 頁右段 10 行目　「ボルツマン係数」→「ステファン・ボルツマン定数」
・97 頁左段下から 11 行目と式式 4・10　「温度伝導率 a［m^2/K］」→「温度伝導率 a［m^2/s］」
・100 頁表 4.2　「熱貫流」→「熱貫流率」
・108 頁式 4.28　「放射熱伝達率［W/m^2］」→「放射熱伝達率［W/m^{2}K］」
・108 頁式 4.29　「対流熱伝達率［W/m^2］」→「対流熱伝達率［W/m^{2}K］」
・109 頁左段 4 行目　「(式 4・9)」→「(式 4・32)」
・109 頁式 4・34　「総合熱貫流率［W/K］」→「総合熱貫流率［W/m^{2}K］」
・109 頁式 4・35-3)　「R」→「Rair」
・110 頁左段 10 行目　「R」→「Rair」
・110 頁式 4・36 右辺の「R」→「Rair」
・110 頁式 4・38-3、式 4・39 右辺の「R'」→「Rair'」
・110 頁右段下から 7 行目　「[kg/m^2]」→「[kg/m^{2}s]」
・112 頁左段下から 6 行目　「図 4・45」→「図 4・46」
・113 頁式 4・43　「空気の比熱［J/kg］」→「空気の比熱［J/kgK］」
・114 頁式 4・48　「外表面の対流熱伝達率」「外表面の放射熱伝達率」「屋外側の総合熱伝達率」の単位
［W/(m^{2}K^4)］→［W/m^{2}K］
・120 頁左段下から 9 行目　「余熱」→「予熱」

■5 章
・135 頁表 5.2「フタル酸-n-プチル」→「フタル酸-n-ブチル」
・144 頁問 1 の 3 行目　「1/√2」→「√2/10」
・144 頁問 1 の 7 行目　「≒0.10」→「≒0.18」

■6 章
・147 頁図 6-5　「暮らしを取りまくさまざまな騒音」→「吸音のための建材」
・151 頁右段下から 1-2 行目　「ρ$_c$」→「ρc」　ρの定義の後に「c：音速[m/s]」を追加
・156 頁図 6-20　N 曲線全体が約 1dB 下にずれている→500Hz 帯域で N 値と dB 値が一致するのが正しい
・158 頁式 6-23　「4π」→「2π」
・160 頁式 6-30 左式　「E」→「Es」
・160 頁式 6-31　1/4πd2 の後の「－」→「＋」
・160 頁式 6-33 分子　「kV」→「KV」
・163 頁右段 20 行目　「式 6･34」→「式 6･38」
・167 頁式 6-39　空気層・板厚・孔径の単位　「mm」→「m」　「d：孔径」に訂正　「c:音速[m/s]」を追加
・170 頁問 3 解答図：N 曲線全体が約 1dB 下にずれている→500Hz 帯域で N 値と dB 値が一致するのが正しい